

研修しスポーツ教室の普及を約束して解散する。

4 教育キャンプ村の開設

期日 昭和39年7月22日～8月3日

場所 猪苗代町天神浜

講師 福島大学助教授 佐藤 克己
猪苗代町東中学校長 大堀 三男
" 吾妻一中校長 渡部 義健
" 吾妻一小教諭 星 護郎
" 教育委員会事務局 星 滋
県教委保健体育課体育係長 佐々木英雄
" 指導主事 石井 源次
" 北会出張所指導主事 沼沢 東吾

参加人員 2,091名

中・高校生が大部分であったが、青年団、ユース・ホステルクラブ、青年学級、教育委員会など一般の利用者が増加し、昨年より300名ほど増加した。しかし、800名程参加のこわりをすることについて、検討の余地がある。

5 スポーツテスト講習会

スポーツテスト実施方法の研究を内容にし、県内5地区にて研修会を開催した。

期日、会場および参加者数

県北地区	9月2日	福島第一小学校	109名
相双地区	9月3日	原町第二中学校	89名
石城地区	9月4日	平第二小学校	114名
県南地区	9月8日	郡山第三中学校	112名
会津地区	9月9日	若松女子高校	184名
		計	608名

講師

福島大学学芸学部助教授	青田 峯雄
同上	佐藤 克己
県教委保健体育課指導主事	石井 源次
同上	鈴木 正一

対象

体育指導委員
市町村スポーツ少年団指導者
小・中・高校教員

以上の5か所において、文部省中央講習会参加者が講師となり、伝達講習会を開催したが、学校教員が大部分で体育指導委員の参加が少なかったのは遺憾である。

40年度実施に当ってはぜひ体育指導員を派遣されるよう、市町村教育委員会に望む次第である。

6 ユース・ホステル普及講習会

期日 昭和40年2月23日

会場 相馬郡小高町役場

内容

野外活動の普及奨励とユース・ホステルの役割
県教委保健体育課指導主事 石井 源次
社会体育の振興について

県教委相馬出張所指導主事 久保田 誠

ユース・ホステルの普及について

県ユース・ホステル協会副会長 碓井 橘造

参加者 体育指導委員 40名

1日間の講習会であったが、会員の普及、ユース・ホステルの増加をはかるうえに非常に有意義であった。

参加者が少なかったのは開催の時期と通知の不徹底が考えられる。

7 「スポーツの日」の行事開催

期日 昭和39年10月3日

場所 中央会場 各出張所管内1市町村を指定し管内の中央会場としてモデル的に実施し、その他の市町村もこれに準じて体育行事をもった。

内容 フォークダンス大会、サイクリング大会、体育祭、その他

このスポーツの日の行事は、10月3日に行事をもつことは農村地区の多い本県においては開催が困難であり、農繁期が終ってから実施したところがあった。

8 第3回東北、北海道体育指導委員研究大会兼福島県体育指導委員研究大会

期日 昭和39年8月18、19日

会場 福島市立福島第一小学校

内容

○講演

スポーツ振興と社会体育の現状について
東京教育大学教授 竹之下 休蔵

○事例発表

各道県より各1名の発表があった。

○研究協議

第1分科会 地区社会の特性に即したスポーツの振興について

第2分科会 青少年のスポーツ活動について

第3分科会 スポーツ教室の運営について

第4分科会 スポーツテストの普及について

参加者

北海道、東北各県、体育指導委員代表 各3名 18

" " 主管課担当者 各2名 12

福島県体育指導委員 200名

参加者総数230名の盛会で2日間にわたり有意義な研修会を開催することができた。特に中央講師、東京教育大学の竹之下教授の講演は大変有意義であって、今後の社会体育推進に大いに力づけられた。